

報 告 書

(2 班)

| | | | |
|--------------|--|------|-----------|
| 開催日時 | 平成25年1月30日(水) 7時00分 ~ 8時45分 | | |
| 開催場所 | 米崎町 米崎コミセン | | |
| 出席議員 | 挨拶 菅野稔 班長 | | |
| | 司会進行 | 大坪涼子 | |
| | 報告者 | 佐藤信一 | 千田勝治 |
| | 記録者 | 鵜浦昌之 | 大坂 俊 都合欠席 |
| 参加人数 | 39名 市職員2名 東海新報社1名 | | |
| 主な要望 ・提言等 | <p>1 議員の説明は行政報告にしか聞こえない。議員の生の声が聞こえてこない。防潮堤の高さ 12.5メートルの話も、シミュレーションの話も市民に聞こえてこない。データも出されず、どのような解析方法で高さが決まったのか。また、高田町の土地区画整理事業でかさ上げされる盛土の高さが高くなった件についても市民に説明がない。</p> <p>2 チリ地震津波は5メートルの高さだったので6メートルの防潮堤を造った。今回の大震災では高い場所で18メートルの津波がきたとされているが、防潮堤の高さは12.5メートルという。大震災時同様の津波が来たら防潮堤を越水するのではないか。その対応策を検討したのか。</p> <p>3 市内各地で行われた防潮堤整備の説明会の案内が関係者だけでなく、市民全員にいなかったのはおかしいのではないか。</p> <p>4 県の説明によると、防潮堤の高さは「12.5メートルまで」とのことだった。さらに、「市民さえよければ0メートルでもいい」ということだった。多くの市民は「12.5メートルでは高すぎる」との声が多いのではないか。さらに、市は震災の検証を第三者に委託したと聞くが、犠牲になった人がどこでどのようにして亡くなったのか市民が検証すべき。堤防で守るのではなく、本来逃げなくてもいい場所に住宅を建てるべき。市役所の再建場所についても、高田町の浸水区域に計画案として示されているが、高台の本丸公園へ避難できるように通路を設けるということは、やはり津波が心配だということだと思う。それなら最初から高台にと思う。もっと市民の声を吸い上げてほしい。堤防に頼らない防災施策をお願いしたい。</p> <p>5 防潮堤は高ければ高いほど災害防止になるのではないか。漁業者は「海が見えない」というが、私は高いほうに賛成だ。</p> | | |

6 議会報告会というが、もっと市民の声を吸い上げてほしい。

市民一人一人の意見を聞いて議論してほしい。一本松、遺構、防潮堤などは大きな問題。徹夜で議論しながらでも、市民の意見を反映してほしい。きょうの資料は高田町と気仙町の地図が掲載されているが、米崎町や小友町、広田町はどうなっているのか。将来、本市はどのような産業が基幹になるのかなど、ビジョンがない。これからは人口減に拍車がかかることが予想されることから、交流人口を増やすことが大切ではないか。

7 議会報告会のあり方について、これまで議会がどのようなことを当局に要求し、議論した結果どうなったのかを報告すべきではないか。

また、防潮堤を越えた津波が押し寄せた場合の対策は十分か。

8 市長は軽率でないか。市役所の再建場所など、もっと市民と議論し検討してから場所を示すべきではなかったか。市民が混乱する。

9 防災集団移転の進捗状況を説明してほしい。

10 被災者は高台に移転できるが、ギリギリ被災しなかった人は防潮堤がないことから今後の津波を心配している。希望があれば、そのような人でも高台移転できるようにしてほしい。

11 高台移転先の地主だが、市に一度承諾書を出した。しかし、それ以来何の連絡もない。本当に土地を買ってくれるのか。何年も待ってられない。

12 統合後の米崎中学校の跡地利用はどうなっているのか。住宅を建てることができればいいと思うがどうか。

13 高台移転先に通じる道路の計画はどうなっているのか。

14 ガレキ撤去に関し、多少残っても復興にあまり影響ないと思う。

稼働している重機を復興住宅建設に活用すべきではないか。災害住宅団地を建設する場合も高層ならエレベーターが必要で、一階は産直スペースにするなど、設計の中身を考えてほしい。

15 地震の際、エレベーターは止まるということも考えてほしい。また、大槌町では高台移転住宅を戸建て、長屋形式、アパートのうちから選択できるという。なぜ、陸前高田市でも戸建てができないのか。市は「公平性を欠くため、ある地域にだけ戸建て住宅を建設することはできない」という。それなら市内全域に戸建て住宅を建設すればいいのではないか。

16 高層住宅を建設した場合、年々維持管理費がかかってくる。人口が減って入居者が減れば、それだけ入居者の負担が増えるのではないか。できれば戸建てにして将来的に払い下げてほしい。

17 防潮堤のシミュレーションについて、各議員がしっかりと把握しているのか。一昨年の震災同様の津波が押し寄せた場合、第一波で防潮

| | |
|------------|--|
| | <p>堤を越え、まちなかにプールのように水がたまっている状態で第二波、第三波が来た時、陸地の奥に水が押し寄せるのではないか。そのような想定をシミュレーションしているのか。</p> <p>18 人口が減少していることもあり、大船渡市と合併する考えはないか。合併することによって市役所も市民会館も建設する必要がなくなるのでは。</p> <p>19 防潮堤について、多くの市民が「12.5メートルの高さはいらない」と話している。海や津波が見えないのは怖い。防災対策としては高台移転を進め、安全な避難場所を設けるべき。また、12.5メートルといわれてもイメージできない。タピックの建物に12.5メートルの高さを示してはどうか。もっと市民の意見を聞いてほしい。</p> <p>20 防潮堤の高さについては、一昨年の津波で一階が浸水した自宅を修理した家もあるということを考えなければならない。そのような家では地震が来るたびに津波を心配している。浸水区域では農業の復元作業が行われているが、またも大津波がくればやられてしまうだけに防潮堤建設は必要。景観が大切か、市民の生命財産が大切か検討すべき。</p> <p>21 米崎中学校には仮設住宅が89戸（250人入居）あるが、駐車場の出入口道路の坂道がでこぼこで降雪時は危険。早急に舗装してほしい。</p> <p>22 市内の保育施設は法人立と公立がある。法人か公立か同じにすべき。</p> <p>23 市民がまちづくりについて一緒に話し合うような場を設けてほしい。まちづくり協議会の設置をお願いしたい。</p> |
| <p>所 感</p> | <p>菅野 稔</p> <p>1人の質問・意見等の発言を数分間に定め、多くの市民の方々より発言を頂くように進行していくべきだった。</p> <p>佐藤信一</p> <p>防潮堤の高さや構造についてや防災集団移転、災害公営住宅の建設等についての質問や意見が多く出された。市民一人ひとりがそれぞれの立場でしっかりと考えながら権利と役割についても話し合っていく必要を感じた。</p> <p>大坪涼子</p> <p>復旧・復興に対する防潮堤整備など、決定するまでの経過で、被災者だけでなく、広く一般にも説明し意見を聞いて欲しいとの意見があった。議会報告ではなく、市政報告ではないかとの意見もあり、報告会で出された意見や要望などを行政に届け、また現在の市の取り組み状況を伝えるという議会の役割を理解して貰うことも重要であると感じた。</p> |

鵜浦昌也

議会報告会のあり方について、「報告会」とする表題を変更することも検討すべきではないか。「市民の意見を聞く会」とするか、その都度「中学校の統合について」など、具体的なテーマを絞って開催してはどうか。

千田勝治

復興計画の事業実施に当たり、議会が当局とどのような議論がされているのか見えない。議会報告会で市民はその議論の経緯を知りたいとの意見が出された。

陸前高田市議会議長 伊藤明彦 殿

平成25年2月1日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成24年度第2回議会報告会2班

班長 菅野 稔 ⑩